

交流研究員出張申請フロー



国内・海外出張及び学会参加

メールベースで担当窓口(今本(himamoto@nmems.or.jp)に 1. 出張の期間及び時間 2.用務先 3.用務 4.出発地、到着地 を伺いの上、承諾を得て出張 (海外出張及び学会参加の場合は一ヶ月前までに承諾を得る)

担当(今本)から承認メールを返送後、NMEMS本部担当:小寺より出張依頼を交流研究員の上長にメールPDFを送信 (出張依頼サンプル参照)

交流研究員の上長からNMEMS小寺宛(ikodera@nmems.or.jp)に回答をメールPDFにて送信し、出張申請手続き完了 (出張回答サンプル参照)

交通費、諸経費合計(○○月)分 (別紙 II -2-5) 国内旅費請求書及び出張報告書 国内・海外 学会参加精算書 海外旅費出張精算書及び出張報告書 旅費発生月の請求は、 まとめて翌月5日までに 必着のこと

*5日を過ぎた場合は、 翌々月支払

必要なエビデンス添えて、提出先:旅費担当松尾宛(nmatsuo@nmems.or.jp)までPDFを送付

エキスパート等で 日付・経路・金額・時間 がわかるもの及び領収書 (出張経路に各機関の通勤経 路が含まれている場合には定 期を使用のこと)

本部(部内決裁)

請求者への支払 (口座振込)

原則 請求者に対して、 翌月25日支払

<出張依頼サンプル>



《会社名》...

《所属》∴

≪役職≫...

《氏名》 殿』

技術研究組合 NMEMS 技術研究機構』

専務理事 今 仲 行 一 印。

出張依頼について↩

拝啓 時下益々ご清祥のこととお康び申し上げます。平素より当研究機構の業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。。

さて、当研究機構では新エネルギー・産業技術総合開発機構から「インフラ維持管理・ 更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト(インフラ状態モニタリング用センサシ ステム開発)道路インフラ状態モニタリング用センサシステムの研究開発」の受託により研 究開発を行っております。。

ー つきましては、当該プロジェクト推進のために下記の者の出張を依頼いたしたく、格別 のご配慮をお願い申し上げます。』

敬 县。

記。

1	出張者:	《所属 1》。 《氏名 1》(交流研究員)。].
Φ.	出張目的:	《出張目的 1».1	1
	出 張 先:	《出張先 1».₁	1
	出張期間:	《出張期間 1».,].,
Ø.	出張目的:.	《出張目的 2》、1	1.
	出 張 先:	«出張先 2».₁	Ï.
	出張期間:	《出張期間 2».1	Ĭ.,
۵.	出張目的:	«出張目的 3».1	1,
	出 張 先:	«出張先 3».₁	1.
	出張期間:	«出張期間 3».1	1.
21	费 用:.	出張旅費は技術研究組合 NMEMS技術研究機構の旅費支給要領に 従い負担します。。	1,
		以	H

〈出張回答サンプル〉



出張依頼について(回答)↩

技術研究組合 NMEMS技術研究機構。 専務理事 今 仲 行 一 殿。

> 《会社名》。 《所属》。 《役職》。

> > ≪氏名》 印』

《依頼日》 にてご依頼のありました標記の件については、下記のとおり回答申し上げます。。

記。

.1	出張者:,	《所属 1》。 《氏名 1》(交流研究員)。	.1
Ф.	出張目的:.	《出張目的 1».,	1.
.1	出 張 先:	«出張先 1».₁	-
.1	出張期間:.	《出張期間 1》。	ļ.,
۷.	出張目的:.	«出張目的 2».1	1.
.1	出張先:	«出張先 2» л	ľ
.1	出張期間:	《出張期間 2».1	
۵.	出張目的:.	«出張目的 3».1	1.
.1	出張先:	«出張先 3».₁	
.1	出張期間:.	«出張期間 3».¬	1,

上記日程により、出張のご依頼をお受け致します。』



